

令和3年度 我孫子市立布佐小学校 学校経営全体構想図

学校教育目標 「心豊かに たくましく生きる 児童の育成」

めざす学校像<<合い言葉>>
「進んで勉強 みんな仲良く 元気よく」

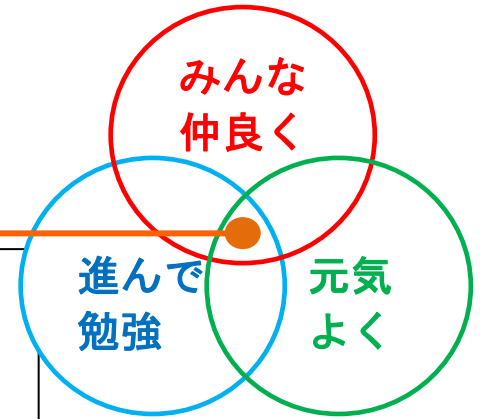
めざす児童像

- ・よく考え自ら学ぶ子
- ・明るく思いやりのある子
- ・気力たくましく元気な子

布佐っ子

めざす教師像

- ・尊敬・信頼される教師
- ・心温かく、子どもと遊ぶ教師
- ・地域を大切にする教師
- ・傾聴・丁寧な対応ができる教師



市のビジョン・目指す子ども像
○「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども（郷土愛）
○確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども（未を拓く力）
○自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども（輝く心）

小中一貫教育の目標
○自ら学び、心豊かに支え合い、よりよい未来を切り開く児童生徒の育成
★9年間を一貫させたカリキュラムの工夫・改善
◎布佐中区として「15歳の姿」の共有化と三本の柱（研修・特活・生徒指導の推進）

重点課題

1 学力の向上

- ・計算、漢字力の向上（基礎学力の向上）
- ・「主体的・対話的で深い学び」を促す授業づくり
- ・家庭学習の習慣化

2 「ふさカリキュラム」の推進・充実

- ・指導計画等の工夫・改善
- ・地域の人々との連携
- ・指導資料の工夫・改善

3 学級経営の充実

- ・人間関係づくり（子と子、子と教職員）
- ・保護者との密な連絡・連携
- ・学習や生活ルールの確立
- ・「あいさつ、返事、清掃」の徹底

○進んで勉強

- ①家庭学習を習慣化する。
（宿題・読書を含めて学団ごとに目標時間設定）
※低：30分、中：45分、高：60分
- ②読書の推進 ※月に4冊以上
（低：20頁、中40頁、高60頁で1冊）

○みんな仲良く

- ①「ありがとう」「ごめんなさい」「お礼や感謝」「お詫び」の言葉等、思いやりのある言葉や自分の気持ちを素直に言葉で伝える。
※学年末までに100%をめざす。
- ②友だちや先生と仲良く遊べるようにする。
※子どもと教師で週に2回遊ぶ。

○元気よく

- 「給食～残菜の減少」に取り組む。
※「もぐもぐタイム」の実施（昼の放送を聞きながら）
鉄棒（「逆上がり」）や縄跳び（リズム縄跳び）
マット低「前・後転」、跳び箱「開脚跳び」
中「開脚前・後転」、跳び箱「台上前転」
高「側方倒立回転・補助倒立」、跳び箱「抱え込み跳び」等、学団・学年で達成目標を設定

特色ある教育活動

- 1 小中一貫教育の推進
「15歳の姿」の具現化
- 2 たてわり活動
・なかよし給食、なかよしタイム

3 読書活動の充実

- ・読み聞かせ、朝の読書活動
- ・図書室の活用
- ・読書量の表彰

4 布佐学習の充実

- ・布佐のまつり、水害対策
- ・井上二郎氏、岡田武松博士
- ・ふさカリキュラムの推進

布佐小学校を支える力<<連携力>>

- 地域力
- 保護者の力
- 教職員の力
- 学校間連携の力